

私はこうみる

日韓トンネル構想



米州開発銀行
アジア事務所
事業研究情報統括

尹 敏鎬氏

日韓トンネルは日本の九州と韓国を結ぶトンネル。佐賀県の東松浦半島から杓岐、対馬を経て釜山または巨済島に至る構想だ。いまは全く話題に挙がらないが、かつて日韓議員連盟会長の竹下登元首相が自民党での検討を指示していた。羽田孜元首相も自著で「日本再生プログラム」の一環として日韓トンネル構想に言及していた。

私は「日韓トンネル」が実現すれば、日

ユン・ミンホ 81年漢陽大工業化学卒。83年東工大院修士修了。88年米ジョージワシントン大院博士修了。韓国東西証券東京支店長などを経て07年3月から現職。国際金融情報センター客員研究員。ソウル出身、53歳。

韓の100年の問題、解決できると思う。

韓国はいま実利を追求する李明博政権が生まれ、日韓のシャトル外交も実現し、ぎくしやくしていた日韓関係

実現で「100年の問題」解決

対話は難しい。こういう韓国のシグナルを日本の政界も見逃さないで、韓国とのネットワークを積極的に築いてほしい。

だが、現実、寂し

がよくなる好機にある。韓国の日韓議員連盟の会長に李明博大統領が最も信頼をおく実兄を据えたのも日韓関係をよくしたいという姿勢の表れ。盧武鉉前大統領時代の会長は日本語を話すことができなかつた。通訳が入ったの対話は、どうしても率直な腹を割っての

いことに、日韓双方に関心を持って、また愛情を持って相手の国を見る人材がいない。私と同世代の40-50代で日本と関係のある人はほとんどいない。その多くが「中国のほうが歴史問題がなく話しやすい」「日本よりも今は成長する中国と付き合ったほうがプラス

になるのではないか」といった意識を持つ。事実、今年2月中旬に京畿道の金文洙知事が韓中トンネル構想を表明した。ルートはいくつかあって、中国の山東半島の威海と、国際空港のある仁川、平澤などが候補に挙がっている。これらは昔から往来のあったルート

だ。金知事は次期大統領候補に名前が挙がる人物。中国側はまだ反応していないが、そんな力を持つ人が、日本ではなく中国を見ているということだ。

日韓の首脳会談を契機に、中断していた自由貿易協定(FTA)交渉の再開が決まった。6月から事前の予

備交渉が始まる。韓国はリーダーがやると決めれば物事は決まり進む。FTA交渉の鍵を握るのは日本。

李大統領は日本の先端部品産業の韓国投資や技術移転を要求している。トンネル技術は日本が世界的にリードする。日韓のトンネル事業は巨大金融プロジェクトと最先端の技術が必修。事業を通じて日韓の経済や人的、技術交流と移転は海の下で自然に解決できる。日韓トンネルは、日韓の関係強化に大いに役立つ。4月に駐日大使に赴任した権哲賢氏は釜山出身で国会議員時代には日韓トンネルを強力に主唱した人物でもある。いま改めて検討する価値があるのではないか。

国際・中国・アジア